



平成30年度採用 茨城県公立学校教員選考試験実施要項

茨城県教育委員会

本県の求める教師像

- 1 教育者としての資質能力に優れた、人間性豊かな教師
- 2 使命感に燃え、やる気と情熱をもって教育にあたることのできる活力に満ちた教師
- 3 広い教養を身に付け、子どもとともに積極的に教育活動のできる指導力のある教師
- 4 子どもが好きで、子どもとともに考え、子どもの気持ちを理解できる教師
- 5 心身ともに健康で、明るく積極的な教師

【1】 目的

この試験は、平成30年度の茨城県公立学校教員の採用に当たっての選考資料を得るために実施します。

【2】 選考種別

- 一般選考（志願者の特例、小学校算数・理科教員を含む。） → 1 ページ
- 身体障害者を対象とした選考 → 3 ページ
- 講師等経験者特別選考 → 4 ページ
- 社会人特別選考 → 4 ページ
- 大学等推薦特別選考 → 5 ページ
- スポーツアスリート特別選考 → 5 ページ
- 離職者を対象とした特別選考 → 別紙

この実施要項は、茨城県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

【3】 採用予定人数

採用予定人数には、身体障害者を対象とした選考、講師等経験者特別選考、社会人特別選考、大学等推薦特別選考、スポーツアスリート特別選考、離職者を対象とした特別選考を含みます。

| 区分 | 小学校教諭 | 中学校教諭 | 高等学校教諭 (中等教育学校を含む。) | 特別支援学校教諭 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 実習助手 |
|--|--|--|--|----------|--|---|---|
| 採用予定人数 | 約330名 (小学校教諭15名程度、小学校教諭理科教員15名程度を含む。) | 約250名 (教科別内訳) 国語 31名程度 社会 26名程度 数学 40名程度 理科 38名程度 音楽 12名程度 美術 13名程度 技術 11名程度 家庭 11名程度 保健体育 32名程度 英語 36名程度 | 約160名 (教科・科目別内訳) 国語 26名程度 世界史 7名程度 日本史 10名程度 地理 5名程度 公民 2名程度 数学 16名程度 物理学 7名程度 化学 5名程度 生物学 8名程度 地学 2名程度 保健体育 10名程度 音楽 3名程度 美術 3名程度 書道 1名程度 英語 21名程度 家庭 7名程度 農業 6名程度 工業 10名程度 商業 8名程度 水産 1名程度 看護 2名程度 | 約75名 | 約28名 (主に、小・中学校への配置を予定していますが、高等学校又は特別支援学校へ配置になる場合もあります。) | 約9名 (主に、小・中学校への配置を予定していますが、特別支援学校へ配置になる場合もあります。) | 約4名 (高等学校農業系1名、工業系1名、特別支援学校農業系2名、農業系については高校、特別支援どちらか一方の出願となります。) |
| (注) 日本国籍を有しない方については、講師として任用します。ただし、給与については、教諭と同じ給料表を適用して支給します。 | | | | | | | |

【4】 一般選考

1 受験資格(次の要件を全て満たす方)

※実習助手については9ページ【17】をご覧ください。

| 区分 | 小学校教諭 | 中学校教諭 | 高等学校教諭 | 特別支援学校教諭 | 養護教諭 | 栄養教諭 |
|------|---|-----------------|------------------|---------------|-----------|-----------|
| 要件 | 小学校教諭普通免許状 | 志願教科の中学校教諭普通免許状 | 志願教科の高等学校教諭普通免許状 | 特別支援学校教諭普通免許状 | 養護教諭普通免許状 | 栄養教諭普通免許状 |
| 免許状 | <ul style="list-style-type: none"> 受験する区分ごとの普通免許状(中学校教諭・高等学校教諭を受験する方は当該教科の普通免許状)を現に有する方又は平成30年3月31日までに取得見込みの方 高等学校の書道を受験する方は、当該教科のほかに、国語の高等学校教諭普通免許状を現に有する方又は平成30年3月31日までに取得見込みの方(国語科教諭として配置する場合があります。) 特別支援学校教諭を受験する方で、既に旨、聾、養護学校教諭普通免許状を取得している方は、特別支援学校教諭普通免許状を取得しているものとみなします。 | | | | | |
| 年齢 | 昭和48年4月2日以降に出生した方 ただし、現在、国・公・私立学校の教員、本県立学校の実習助手又は寄宿舎指導員である方(いずれも、臨時的任用や任期付任用に係る方を除く。)にあっては、この限りではありません。 | | | | | |
| 欠格条項 | 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条の欠格条項及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格事由に該当しない方 | | | | | |

<大学院修士課程に進学予定の方・大学院修士課程在籍の方の受験について>

大学院修士課程に進学予定の方及び大学院修士課程在籍の方も出願することができます。内容の詳細は9ページ「【15】採用選考試験の結果の通知等」を参照してください。

2 志願者の特例（一般選考）

下記の(1)から(6)の特例に重複しての志願はできません。二つ以上に該当する場合は、いずれか一つを選び、志願してください。

| |
|--|
| <p>(1) 現職教諭等在職者の第1次試験の免除</p> <p>ア 対象校種・職種及び教科 一般選考で採用を予定する全校種・職種・教科・科目</p> <p>イ 受験資格 1 ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、さらに都道府県（茨城県を除く。）又は指定都市が実施する教員採用選考に合格し、現在、正規任用の教諭、養護教諭又は栄養教諭（いずれも、任期付任用、臨時的任用及び市（指定都市を除く。）区町村採用の場合を除く。）以下「教諭等」という。）として勤務し、志願時に3年以上（休職・育児休業等の期間を除く。）在職している方 出願できる校種・職種・教科等は、教諭等として勤務実績のある校種・職種、教育課程内の授業を担当した実績のある教科に限ります。ただし、科目は問いません。 「連携型又は併設型中高一貫校の中学校、中等教育学校」に3年以上在職していて高等学校を志願する方については、高等学校での勤務実績とみなします。また、「連携型又は併設型中高一貫校の高等学校、中等教育学校」に3年以上在職していて中学校を志願する方については、中学校での勤務実績とみなします。 年齢は、昭和33年4月2日以降に出生した方が対象です。</p> <p>ウ 提出書類 5 ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1)出願時に提出する書類」に加え、10ページ【20】その他の勤務実績証明書（様式1）、自己推薦書（様式2）を提出してください。 なお、志願書の「現職教諭等在職者の第1次試験の免除」の欄に○印をつけてください。</p> <p>エ 選考試験 対象となった方は、第1次試験を全て免除します。</p> |
| <p>(2) 正規任用教諭等経験者の一部試験の免除</p> <p>ア 対象校種・職種及び教科 一般選考で採用を予定する全校種・職種・教科・科目</p> <p>イ 受験資格 1 ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、さらに過去に本県又は他の都道府県公立学校の正規任用の教諭等として3年以上（休職・育児休業等の期間を除く。）の勤務経験がある方。 出願できる校種・職種・教科等は、教諭等として、勤務実績のある校種・職種、教育課程内の授業を担当した実績のある教科に限ります。ただし、科目は問いません。 年齢は、昭和33年4月2日以降に出生した方が対象です。</p> <p>ウ 提出書類 5 ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1)出願時に提出する書類」に加え、10ページ【20】その他の勤務実績証明書（様式1）、自己推薦書（様式2）を提出してください。 なお、志願書の「正規任用教諭等経験者の一部試験の免除」の欄に○印をつけてください。</p> <p>エ 選考試験 対象となった方は、第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験を免除します。</p> |
| <p>(3) 国際貢献活動経験者の一部試験の免除</p> <p>ア 対象校種・職種及び教科 一般選考で採用を予定する全校種・職種・教科・科目</p> <p>イ 受験資格 1 ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、さらに独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）の規定に基づく青年海外協力隊員、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア、日系社会シニア・ボランティアとして、継続して2年以上の派遣実績を有する方</p> <p>ウ 提出書類 5 ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1)出願時に提出する書類」に加え、10ページ【20】その他の派遣実績証明書（様式3）、自己推薦書（様式2）を提出してください。 なお、志願書の「国際貢献活動経験者の一部試験の免除」の欄に○印をつけてください。</p> <p>エ 選考試験 対象となった方は、第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験を免除します。</p> |
| <p>(4) 英語の資格による一部試験の免除</p> <p>ア 対象校種及び教科 中学校・高等学校の英語</p> <p>イ 受験資格 1 ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、さらに次の(ア)から(エ)のいずれかの資格を有する方</p> <p>中学校</p> <p>(ア) TOEFL iBT80点以上取得者 (イ) 実用英語技能検定（(財)日本英語検定協会）準1級合格者 (ウ) TOEIC&TOEIC SW 1028点以上 (エ) GTEC CBT 1197点以上</p> <p>高等学校</p> <p>(ア) TOEFL iBT100点以上取得者 (イ) 実用英語技能検定（(財)日本英語検定協会）1級合格者 (ウ) TOEIC&TOEIC SW 1216点以上 (エ) GTEC CBT 1338点以上</p> <p>ウ 提出書類 5 ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1)出願時に提出する書類」に加え、上記イの受験資格(ア)から(エ)のいずれかを証明する書類の写し（英検を除く英語の資格については、平成27年5月27日以降に取得した公式認定証によるスコアのみ有効とします。）を提出してください。 なお、志願書の「英語の資格による一部試験の免除」の欄に○印をつけてください。</p> <p>エ 選考試験 対象となった方は、第1次試験のうち英語の専門教科試験及び口述試験（英会話）を免除します。</p> |
| <p>(5) スポーツの実績による一部試験の免除</p> <p>ア 対象校種及び教科 中学校・高等学校の保健体育</p> <p>イ 受験資格 1 ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、さらに次の(ア)又は(イ)のいずれかの要件を満たし、かつ(ウ)の要件を満たす方</p> <p>(ア) 国際大会（オリンピック・パラリンピック競技大会、アジア競技大会、世界選手権大会又はユニバーシアード競技大会）に日本代表として出場した方（ジュニア選手権等、18歳以下を対象とする大会を除く。） (イ) 全国大会（全日本選手権大会、国民体育大会〔成年の部〕又は全日本学生選手権大会）において、団体又は個人で優勝若しくは準優勝の成績を収めた方（団体競技の場合、正選手として大会に出場した方、国民体育大会少年の部等、18歳以下を対象とする大会を除く。） (ウ) 競技種目は、原則として、国民体育大会実施競技（特別競技を含む。）とする。</p> <p>ウ 提出書類 5 ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1)出願時に提出する書類」に加え、10ページ【20】その他のスポーツの実績一覧（様式4）及び実績を証明できる書類の写しを提出してください。 なお、志願書の「スポーツの実績による一部試験の免除」の欄に○印をつけてください。</p> <p>エ 選考試験 対象となった方は、第1次試験のうち保健体育の専門教科試験及び実技試験を免除します。</p> |
| <p>(6) 前年度の選考試験結果による第1次試験の免除</p> <p>ア 対象校種・職種及び教科 一般選考で採用を予定する全校種・職種・教科・科目</p> <p>イ 受験資格 1 ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、さらに平成29年度採用茨城県公立学校教員選考試験の第2次試験結果通知の際に、平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験第1次試験免除対象者であると通知され、平成29年度採用の選考試験で受験した同一校種、同一試験区分、同一教科・科目を受験する方</p> <p>ウ 提出書類 5 ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1)出願時に提出する書類」に加え、「平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験第1次試験免除対象者通知書の写し」を提出してください。 なお、志願書の「前年度の結果による第1次試験の免除」の欄に○印をつけてください。</p> <p>エ 選考試験 対象となった方は、第1次試験を全て免除します。</p> |

3 小学校教諭算数・理科教員（この選考枠の志願者全員を一般選考の小学校教諭との併願として扱います。）

| | |
|---------|--|
| 1 募集人数 | 小学校教諭（算数） 15名程度、 小学校教諭（理科） 15名程度 |
| 2 受験資格 | 小学校教諭（算数） 1ページの「【4】一般選考 1 受験資格」の小学校教諭の要件を満たし、さらに中学校教諭（数学）普通免許状を有する方（平成30年3月31日までに取得見込みの方を含む。） 小学校教諭（理科） 1ページの「【4】一般選考 1 受験資格」の小学校教諭の要件を満たし、さらに中学校教諭（理科）普通免許状を有する方（平成30年3月31日までに取得見込みの方を含む。） |
| 3 出願手続等 | 一般の小学校教諭の手続きに準じます。一般の「小学校教諭」との併願として扱います。志願書の志望欄の「小」の「教諭」の欄と、「算数」又は「理科」のいずれかの欄に○印をつけてください。 |
| 4 選考試験 | 第1次試験、第2次試験とも、志願者の特例を含め一般の「小学校教諭」と同一の試験を実施します。 |
| 5 その他 | 勤務内容は、一般の小学校教諭と同じです。 |

4 加点制度

| | | |
|------------------------|---|----|
| 1 加点制度を利用できる受験者及び加点の方法 | <ul style="list-style-type: none"> 一般選考で受験する方は、加点制度を利用できます。ただし、「志願者の特例」による受験者を除きます。 講師等経験者特別選考（併願）及び小学校算数・理科教員の受験者は、それぞれの選考枠で不合格となり、一般選考志願者として選考する場合のみ加点制度が適用になります。 加点の内容は、下記3の表により選考し、第1次試験の合計点に20点を上限として加点します。 英検を除く英語の資格については、平成27年5月27日以降に取得した公式認定証によるスコアのみ有効とします。 | |
| 2 提出書類 | <ul style="list-style-type: none"> 出願時に、加点申請書を提出してください。併せて、志願書に加点制度の利用の有無を記載してください。 既得の免許状等については、その写しに原本証明（ない場合は無効）を付して、受付期間内に持参又は郵送により提出してください。 取得見込みの免許状については、その取得見込証明書を、受付期間内に持参又は郵送により提出してください。 司書教諭の資格を有する証明書類については、「司書教諭講習修了証書」、又は「単位修得証明書（司書教諭）」及び「司書教諭講習修了証書申込書」の写しを、受付期間内に持参又は郵送により提出してください。ただし、大学等在籍者で、「司書教諭講習修了証書申込書」を受付期間内に提出することができない場合には、「単位修得証明書（司書教諭）」のみで、申請を受け付けます。「単位修得証明書（司書教諭）」及び「司書教諭講習修了証書申込書」の提出者は、「司書教諭講習修了証書」を取得後、速やかに提出してください。（提出期限：平成30年3月31日） | |
| 3 加点制度の対象者及び資格等 | <ul style="list-style-type: none"> 免許状以外の資格（司書教諭を除く。）については、取得見込みの方は申請できません。 | |
| 対象 | 資格等 | 加点 |
| 全校種 | ・博士号を取得し、受験する学校種・教科の普通専修免許状を有する方 | 20 |
| 全校種(高校英語を除く) | ・英検準1級以上、TOEFL iBT80点以上、TOEIC730点以上、TOEIC& TOEIC SW1028点以上、GTEC CBT1197点以上のいずれかの英語の資格を有する方 | 20 |
| 小・中・特別支援学校(英語を除く) | ・英検2級以上、TOEFL iBT53点以上、TOEIC540点以上、TOEIC& TOEIC SW710点以上、GTEC CBT925点以上のいずれかの英語の資格を有する方 | 10 |
| 高等学校 | ・「情報」の普通免許状を有する方 | 10 |
| 高等学校 | ・「地理歴史」の受験者で「公民」の普通免許状を有する方 | 10 |
| 高等学校 | ・「公民」の受験者で「地理歴史」の普通免許状を有する方 | 10 |
| 高等学校 | ・「福祉」又は「看護」の普通免許状を有する方 | 10 |
| 高等学校 | ・「家庭」の受験者で、「福祉」の普通免許状を有する方 | 20 |
| 全校種 | ・司書教諭の資格を有する方 | 5 |
| 小・中学校 | ・特別支援学校教諭等の普通免許状を有する方 | 5 |
| 中学校 | ・中学校教諭の複数教科の普通免許状を有する方 | 5 |
| 小・中学校 | ・小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許状を有する方 | 5 |
| 特別支援学校 | ・小学校、中学校及び高等学校の3校種の普通免許状を有している方 | 10 |
| 特別支援学校 | ・小学校及び中学校、又は小学校及び高等学校の2校種の普通免許状を有している方 | 5 |
| 特別支援学校 | ・中学校及び高等学校教諭の数学の普通免許状を有している方 | 10 |
| 合計点 | (合計が20点以上の場合は20点とすること。) | |

【5】 身体障害者を対象とした選考

| | |
|---------|---|
| 1 募集人数 | 全校種で10名程度 |
| 2 受験資格 | 次の(1)～(3)に掲げる要件を全て満たす方 (1) 1ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たす方 (2) 自力により通勤ができ、かつ介助者なしに職務の遂行が可能な方 (3) 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの方 |
| 3 出願手続等 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 一般選考の手続きに準じます。志願書の「選考種別」欄の「2 身体障害者を対象とした選考」の欄に○印をつけてください。一般選考との併願はできません。 (2) 5ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1) 出願時に提出する書類」に加え、身体障害者手帳の写しを提出してください。 (3) 受験の際、特に配慮を必要とする方は、志願書の「受験上の配慮事項」欄に記入してください。 《受験上の配慮の具体例》 ・視覚に障害のある方 [問題及び解答用紙の拡大、ルーペ等の視覚補助具の使用、拡大読書器の使用] ・聴覚に障害のある方 [補聴器等の聴覚補助具の使用、手話通訳者の派遣、要約筆記者の派遣] ・下肢に障害のある方 [車椅子が使用可能な教室での受験] |
| 4 選考試験 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 選考試験は原則として一般選考試験と同様に行いますが、障害の種類や程度に応じ、実技試験の全部又は一部を免除します。 (2) 志願者の特例の要件に該当する場合には、一般選考と同様に第1次試験の全部又は一部を免除します。 |

【6】 講師等経験者特別選考（一般選考との併願可）

1 実施する校種・職種・教科・科目及び募集人数

- (1) 小学校 50名程度
- (2) 中学校 30名程度（国語・数学・理科・英語・保健体育で各6名程度）
- (3) 高等学校 12名程度（国語・数学・保健体育・英語・工業で各2名程度，農業・商業で各1名程度）
- (4) 特別支援学校 7名程度
- (5) 養護教諭 若干名

2 受験資格（必要とする勤務実績）

- (1) 1ページの「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たす方
- (2) 受験する校種・職種において、本県内の臨時的任用の講師、養護助教諭、実習助手又は寄宿舎指導員（非常勤講師は除く。）として勤務し、次の（ア）又は（イ）の要件を満たす方
 - （ア）直近4年で12月以上かつ、志願時において臨時的任用講師等として勤務している方
 - （イ）直近4年で24月以上の勤務実績を有する方
- (3) 直近4年とは、平成25年4月1日から平成29年3月31日までの期間となります。また、勤務月数については、1日でも任用のあった月は、1月として計算します。
- (4) 勤務期間は連続しなくてもよいものとします。
- (5) 臨時的任用は、茨城県内の公立小・中・義・高・特別支援学校及び国立大学法人が県内に設置する学校での勤務とします。ただし、本県内市町村教育委員会が実施する選考試験を経て採用された市町村費負担教員（非常勤講師を除く。）も勤務年数に入れるものとします。

3 出願手続等

- (1) 一般選考の手続きに準じます。一般選考（志願者の特例は除く。）との併願もできますので、志願書の「選考種別」欄の「3 講師等経験者特別選考（単願）」と「4 講師等経験者特別選考（併願）」のいずれかの欄に○印をつけてください。一般選考との併願を希望する場合に、【4】3の小学校教諭算数・理科教員を志願することはできません。また、【5】身体障害者を対象とした選考との併願もできません。
- (2) 出願時に、最終勤務校又は現勤務校の校長が証明する右記の講師等経験者特別選考勤務実績証明書を提出してください。詳しくは10ページの【19】問い合わせ先に示した担当課までお問い合わせください。

4 選考試験

特別選考の対象者は受験票で通知します。対象となった方は、特別選考単願希望者のみ、第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験を免除します。ただし、一般選考との併願者は、第1次試験の一般教養・教職専門の試験も受験してください。

別記様式

講師等経験者特別選考勤務実績証明書

氏名
受験校種・職種
教科・科目

職歴

平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日（〇月）
〇〇立〇〇学校（講師、養護助教諭）
平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日（〇月）
〇〇立〇〇学校（講師、養護助教諭）

※同一校の場合は、年度ごとに分けて記載する。
※各年度の勤務月数の合計が、下記の文中の月数と同じになる。

上記のとおり平成25年4月1日以降4年間に〇月、勤務したことを証明します。また、志願時において（講師、養護助教諭）として勤務していることを証明します。

平成29年5月〇日
〇〇立〇〇学校長 〇〇〇〇 職印

* 下線部は、志願時に勤務している方のみ記入

【7】 社会人特別選考（高等学校教諭のみ）

1 実施する校種・教科・科目

高等学校理科（物理・化学・生物・地学），高等学校英語，高等学校農業，高等学校工業，高等学校水産，高等学校看護

2 受験資格

1ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の「年齢」，「欠格条項」の要件を満たし，さらに次の要件を満たす方

高等学校理科（物理・化学・生物・地学），高等学校農業，高等学校工業

- ①教育職員免許状を有していない方で，②正規職員としての民間企業や官公庁で継続して3年以上の勤務があり，③出願する教科に関して大学卒業程度以上の高度な専門的知識又は技能（博士号，一級建築士等）を勤務経験等を通して身に付けた方で，④特別免許状の授与条件を満たす方（注1）

高等学校英語

- ①英語を母国語とし，②教育職員免許状を有していない方で，③日本国内において国公立高等学校（中等教育学校を含む。）で英語教育に関連する4年以上の実務経験（ALTや常勤の英語講師等）があり，④教員の職務を行う上で必要とされる日本語の能力を有し，⑤特別免許状の授与条件を満たす方（注1）

高等学校水産

- ①航海又は機関の3級海技士免許を保有し，②水産に関連する実務経験（海技士養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含むことも可。）を3年以上有する方で，③特別免許状の授与条件を満たす方（注1）

高等学校看護

- ①看護師免許（保健師・助産師免許を含む。）を保有し，②看護と関連する実務経験（看護師養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含むことも可。）を3年以上有する方で，③特別免許状の授与条件を満たす方（注1）

3 出願手続等

- (1) 一般選考の手続きに準じます。志願書の「選考種別」欄の「5 社会人特別選考」に○印をつけてください。
- (2) 5ページ「【10】出願手続 2 出願書類 (1) 出願時に提出する書類」に加え，10ページ【20】その他の勤務実績証明書（様式1）及び免許や資格の写しを提出してください。

4 選考試験

対象となった方は，第1次試験のうち「専門教科試験（英語は「専門教科試験及び口述試験）」を免除します。

（注1）特別免許状について

特別免許状は，都道府県教育委員会が実施する教育職員検定試験に合格した方に対して授与され，その都道府県内においてのみ効力を有することとなっています。この教育職員検定の実施については，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第5条第4項において，次のように規定されています。

教育職員免許法 第5条第4項

前項の教育職員検定は，次の各号のいずれにも該当する者について，教育職員に任命し，又は雇用しようとする者が，学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合に行う推薦に基づいて行うものとする。

- (1) 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者
- (2) 社会的信望があり，かつ，教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者

茨城県教育委員会では，これらの授与条件を満たす方が特別選考によって採用内定した場合に，教育職員検定の実施に必要な任命権者としての推薦を行うこととしています。ただし，特別免許状を授与することが適切でない判断され，特別免許状を授与できない場合は，名簿登載を取り消します。

【8】 大学等推薦特別選考

1 募集人数

小学校 12名程度、 中学校 12名程度(茨城県教育委員会が指定する教科)、
高等学校 8名程度(茨城県教育委員会が指定する教科)、 特別支援学校 1名程度

2 推薦基準

- (1) 茨城県公立学校教員を第一志望とする方
- (2) 成績が優秀であるとともに、茨城県の教員として優れた実践力を発揮することが期待できる方で、茨城県教育委員会が指定する大学等の学長等が推薦する方
- (3) 平成30年3月31日までに、大学、大学院を卒業見込み又は修了見込みである方

3 出願方法

「大学等推薦特別選考実施要項」に基づき、大学等が取りまとめて郵送してください。実施要項は、指定する大学等に送付します。(電子申請での受付はできません。)

4 選考試験

対象となった方は、第1次試験全てを免除します。

【9】 スポーツアスリート特別選考

1 実施する校種・教科・科目及び募集人数

中学校及び高等学校の保健体育で、各校種若干名

2 受験資格(必要とする競技実績など)

1ページ「【4】一般選考 1 受験資格」の要件を満たし、上記1の校種において、次の(1)の要件を満たし、かつ

(2)又は(3)のいずれかの要件を満たす方

- (1) 平成31年第74回国民体育大会(正式競技40競技)に、本県選手としての出場資格を有する方、若しくは出場資格を有することが可能な方

【正式40競技】

陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・ソフトボール・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・カヌー・アーチェリー・空手道・クレー射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ・トライアスロン・スキー・スケート・アイスホッケー

- (2) 過去4年間(平成25年4月以降)に、国際大会(オリンピック競技大会、アジア競技大会、世界選手権大会又はユニバーシアード競技大会)に日本代表の競技者として出場した方(ジュニア選手権大会等、18歳以下を対象とする大会を除く。)

- (3) 過去4年間(平成25年4月以降)に、全国大会(全日本選手権大会、国民体育大会[成年の部]又は全日本学生選手権大会)において競技者として出場し、団体でベスト4以内、個人でベスト8以内の成績を収めた方。団体競技の場合、正選手として大会に出場した方(国民体育大会[少年の部]等、18歳以下を対象とする大会を除く。)

3 出願手続き等

- (1) 一般選考の手続きに準じます。ただし、一般選考との併願はできません。志願書の「選考種別」欄の「7 スポーツアスリート特別選考」に○印をつけてください。

- (2) 5ページ「【10】出願手続 2 出願書類(1)出願時に提出する書類」に加え、10ページ【20】その他のスポーツの実績一覧(様式4)及び実績を証明できる書類の写しを提出してください。

4 選考試験

対象となった方は、第1次試験のうち保健体育の専門教科試験と実技試験を免除します。また、第2次試験については、特別選考面接を実施します。

【10】 出願手続 ※実習助手については9ページ【17】をご覧ください。

1 出願上の留意点

- (1) 障害又は身体等の事情により、受験の際、特に配慮を必要とする方は、志願書の「受験上の配慮事項」欄に記入するとともに10ページの【19】問い合わせ先に示した担当課に相談してください。
- (2) 志願書に不備がある場合は、受け付けないことがあります。また、虚偽の記載をした者については、採用を取り消すことがあります。

2 出願書類

(1) 出願時に提出する書類

ア 電子申請の場合

- ・5月上旬に県教育委員会ホームページに掲載される利用方法を確認し、申請してください。
- ・申請できる書類は、志願書、履歴事項追加申請書、加点申請書、志願者データ入力票、受験票(6月中旬頃、受験番号等を表示)です。

※「ウ 各種証明書等の提出について」に該当する方は、志願書等及び各種証明書等を全てまとめ、持参又は郵送にて出願してください。

イ 持参又は郵送の場合

- ・提出する書類は、志願書、履歴事項追加申請書、加点申請書、志願者データ入力票、受験票(6月中旬頃、受験番号等を表示)です。
- ・志願書等の提出については、提出(郵送の場合は消印)期限を厳守してください。
- ・受験票には、表に62円切手を貼り、裏に郵便番号、住所、アパート名又は下宿先、受験者の氏名を記入してください。

ウ 各種証明書等の提出について

- ・一般選考の志願者の特例で受験する方及び特別選考で受験する方は、講師等経験者特別選考勤務実績証明書(4ページ)、勤務実績証明書(様式1)、自己推薦書(様式2)、派遣実績証明書(様式3)、スポーツの実績一覧(様式4)及び資格や実績に関する証明書等の写しを持参又は郵送にて提出してください。

(2) 第1次試験当日に準備する書類

ア 第1次試験結果通知用封筒(長形3号、120mm×235mm)

92円切手を貼り、封筒の表に郵便番号、住所、アパート名又は下宿先、受験者の氏名を記入してください。

イ 受験票

(3) **第1次試験合格者が提出する書類（全校種）**
自己申告書（第1次試験合格者のみに指定用紙を送付します。）

(4) **第2次試験の第1日目に提出する書類**

ア 最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書（改姓の場合は戸籍抄本を添付してください。）

イ 結果通知用封筒(角型2号, 240mm×332mm)

290円切手を貼り, 封筒の表に郵便番号, 住所, アパート名又は下宿先, 受験者の氏名を記入してください。
 また, 封筒の表の左下に受験した校種・職種・教科・科目及び受験番号を明記してください。

ウ 受験同意書は**該当者のみ提出**してください。（同意書及び申立書の様式は自由です。）

現在, 国・公・私立学校の教職員又は国, 地方公共団体若しくは医療機関の職員である方は, 所属長の受験同意書を茨城県教育委員会あて提出してください。ただし, 提出できない事由がある場合は, その事由を記載した申立書を提出してください。なお, 臨時的任用職員及び非常勤職員は提出の必要はありません。

3 受験票の送付

※実習助手については9ページ【17】をご覧ください。

受験者あてに, 6月中旬頃発送する予定です。電子申請の場合は, 同時期に受験票が電子申請用のサイト（県教育委員会ホームページからリンク）よりダウンロードできますので, プリントアウトして確認してください。

【11】 出願期間及び出願先

※実習助手については9ページ【17】をご覧ください。

| 区 分 | 担当課 | 期 間 | 出 願 先 |
|--|---------|---|--|
| 小 学 校 教 諭 中 学 校 教 諭 養 護 教 諭 栄 養 教 諭 | 義務教育課 | 電子申請 平成29年 5月15日(月)から 5月26日(金)まで ※26日の午後5時まで | 〒310-8588 水戸市笠原町978番6 茨城県教育庁の左記の担当課 (県庁舎22階) |
| 高 等 学 校 教 諭 | 高校教育課 | 郵送受付 平成29年 5月15日(月)から 5月26日(金)まで | (1) 志願書等の提出は電子申請, 郵送及び窓口受付とします。 (2) 郵送の場合は, 封筒の表に「教員採用志願書在中」と朱書きし, 担当課名を明記して必ず簡易書留で郵送してください。出願締切日の消印のあるものまで受け付けます。 (3) 志願書等提出後, 連絡先に変更が生じたときは, 担当課へ速やかに連絡してください。 |
| 特別支援学校教諭 | 特別支援教育課 | 窓口受付 平成29年 5月15日(月)から 5月19日(金)まで ※ 午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までと なります。時間外の受付はできません。 | |

【12】 試験期日及び試験場

※実習助手については9ページ【17】をご覧ください。

1 第1次試験

| 区 分 | 期 日 | 試験場(別紙地図参照) | 所在地(電話番号) |
|--|------------------|-----------------|------------------------------|
| 小 学 校 教 諭 中 学 校 教 諭 養 護 教 諭 栄 養 教 諭 | 平成29年 7月9日(日) | 第1会場 水戸市立千波中学校 | 水戸市元吉田町599-2 (029-248-4080) |
| | | 第2会場 水戸市立第三中学校 | 水戸市朝日町2882-1 (029-224-5508) |
| | | 第3会場 水戸市立第四中学校 | 水戸市元吉田町1987-3 (029-247-5554) |
| | | 第4会場 水戸市立第二中学校 | 水戸市三の丸2-9-22 (029-224-4422) |
| | | 第5会場 水戸市立第一中学校 | 水戸市東原3-1-1 (029-224-2424) |
| 高 等 学 校 教 諭 | | 第1会場 水戸市立第二中学校 | 水戸市三の丸2-9-22 (029-224-4422) |
| | | 第2会場 県立水戸第三高等学校 | 水戸市三の丸2-7-27 (029-224-2044) |
| 特別支援学校教諭 | | 県立緑岡高等学校 | 水戸市笠原町1284 (029-241-0311) |

2 第2次試験（第1次試験合格者のみ受験）

| 区 分 | 期 日 | 試験場(別紙地図参照) | 所在地(電話番号) |
|---------------------------------|-------------------|--|------------------------------|
| 小 学 校 教 諭 | 平成29年 8月19日(土) | 第1日目 水戸市立第一中学校 | 水戸市東原3-1-1 (029-224-2424) |
| | | 第2日目 県立水戸第三高等学校 茨城大学教育学部 附属小学校 ※集合場所は別途連絡します。 | 水戸市三の丸2-7-27 (029-224-2044) |
| | | | 水戸市三の丸2-6-8 (029-221-2043) |
| 中 学 校 教 諭 養 護 教 諭 栄 養 教 諭 | 第2日目 | 水戸市立第四中学校 | 水戸市元吉田町1987-3 (029-247-5554) |
| 高 等 学 校 教 諭 | 平成29年 8月20日(日) | 県立水戸第三高等学校 | 水戸市三の丸2-7-27 (029-224-2044) |
| 特別支援学校教諭 | | 県立水戸第一高等学校 | 水戸市三の丸3-10-1 (029-224-2254) |

(注) 1 第1次試験の中学校及び高等学校保健体育受験者は, 筆記試験場が水戸市立第二中学校, 実技試験場が水戸市立第二中学校と茨城大学教育学部附属小学校(水戸市三の丸2-6-8 電話 029-221-2043)になります。

2 試験場は受験票で通知します。(出願者数によっては, 上記の試験場を変更する場合があります。)

3 試験場への自家用車の乗り入れや自家用車による送迎は禁止します。公共交通機関をご利用ください。

4 試験場の敷地内(他会場への移動時も含む)においては, ICレコーダー, スマートフォンや携帯電話, タブレット端末等, 録音・録画・通信・通話のできる電子機器の使用を禁止します。

5 試験場敷地内は禁煙とします。

【13】 日程及び試験内容

※実習助手については9ページ【17】をご覧ください。

1 第1次試験

期日 平成29年7月9日(日) 集合時刻 午前8時30分 (午前8時30分までに集合しない方は原則として入場できません。)

| 区 分 | 時 間 及 び 試 験 内 容 | | |
|--|---|---|--|
| 小 学 校 教 諭 中 学 校 教 諭 養 護 教 諭 栄 養 教 諭 | 9:00～10:00 (60分) 10:15～12:15 (120分) 10:15～11:15 (60分) 12:15～ 12:15～ | 一般教養・教職専門 専門教科等 ただし、小学校教諭は、10:15～12:25(130分) 専門教科(実技・口述試験を伴う教科の受験者) 実技試験(音楽、美術、保健体育、技術、家庭の受験者) 口述試験(英会話：英語の受験者のみ) | |
| 高 等 学 校 教 諭 | 9:00～10:00 (60分) 10:15～12:15 (120分) 10:15～11:15 (60分) 12:15～ 13:15～ | 一般教養・教職専門 専門教科・科目 専門教科・科目(実技試験を伴う教科・科目の受験者) 実技試験(保健体育、音楽、美術、書道、家庭の受験者) 口述試験(英会話：英語の受験者のみ) | |
| 特 別 支 援 学 校 教 諭 | 9:00～10:00 (60分) 10:15～12:15 (120分) 13:15～ | 一般教養・教職専門 専門科目 実技(集団活動) | |

(注) 携行品 受験票、第1次試験結果通知用封筒、上履き、昼食及び筆記用具を持参してください。
 なお、下記教科・科目の受験者は、それぞれ【 】内のものを持参してください。
 ・数学【定規及びコンパス】
 ・美術【定規、鉛筆、消しゴム、カッター、色鉛筆(12色以上、色は自由)】
 ・保健体育【運動着、運動靴(屋外用及び屋内用)及び水着(帽子を必ず着用)。また、柔道又は剣道のうち1種目を選択することになるので、柔道衣又は竹刀を用意してください。】
 ・技術【筆記用具、定規、作業のできる服装及び靴】
 ・家庭【調理実習用エプロン又は白衣、三角巾、マスク、ふきん、台ふきん、裁縫用具一式】
 ・書道【大筆、小筆、下敷き、硯、墨、水差し、文鎮】いずれも半紙書きに対応できるもの。
 【鉛筆、赤のサインペン】 ※練習用の半紙を持参することも可とします。
 ・商業での電卓は試験場に用意します。

2 第2次試験(第1次試験合格者のみ受験) (集合時刻までに集合しない方は、原則として入場できません。)

期日 第1日目 平成29年8月19日(土) 集合時刻 午前8時10分 ただし、特別支援学校教諭は、午前8時30分
 第2日目 平成29年8月20日(日) 集合時刻 あらかじめ指定した時刻

| 区 分 | 時 間 及 び 試 験 内 容 | | |
|---------------------------------|----------------------------|-----------------------|--|
| | 第 1 日 目 | | 第 2 日 目 |
| 小 学 校 教 諭 | 8:40～ 9:40 (60分) 10:30～ | 小論文 集団討論及び 個人面接 | 8:40～ 小学校実技 ・音楽(ピアノによる歌唱共通教材の弾き歌い) ・体育(水泳及び基本的な運動) |
| 中 学 校 教 諭 養 護 教 諭 栄 養 教 諭 | 8:40～ 9:40 (60分) 10:30～ | 小論文 集団討論 | 9:00～ 個人面接 |
| 高 等 学 校 教 諭 | 8:40～10:10 (90分) 10:40～ | 小論文 集団討論 | 9:00～ 個人面接 |
| 特 別 支 援 学 校 教 諭 | 9:00～10:30 (90分) 11:40～ | 小論文 集団討論 | 9:00～ 個人面接 |

(注) 携行品 受験票、6ページ【10】出願手続の2(4)に示した書類、上履き、昼食及び筆記用具を持参してください。
 ・小学校教諭受験者は、水着(帽子を必ず着用)、運動着及び運動靴(屋内用)を持参してください。
 ・小学校教諭受験者は、小学校第1学年から第6学年までの歌唱共通教材の中から1曲を選び、その楽譜を2部持参してください。

【参考】昨年度採用選考試験で実施した実技試験の概要(本年度、同じ試験内容になるとは限りません。)

【小学校】

- ・音楽： ピアノによる弾き歌い(小学校第1学年から第6学年までの歌唱共通教材の中から受験者が1曲選択)
- ・体育： 器械運動(マット)、球技(バスケットボール)、水泳(クロール)

【中学校】

- ・音楽： リズム打ち、新曲視唱、ピアノによる弾き歌い(歌唱共通教材)
- ・美術： デッサン
- ・技術： 条件に応じた材料(木材)の加工、工作機械の安全な使用方法の実演、説明
- ・家庭： 製作(ポケットの付いた巾着型の袋)、調理(ほうれんそうとにんじんのごまあえ)

【中学校・高等学校】

- ・保健体育： 陸上(ハードル)、球技(バレーボール又はバスケットボール)、武道(柔道又は剣道)、水泳、ダンス

【高等学校】

- ・音楽： 新曲視唱、リズム視奏(リズム打ち)、ピアノによる弾き歌い(高等学校教科書掲載の楽曲程度)
- ・美術： 鉛筆デッサン
- ・書道： 臨書と創作
- ・家庭： 折りしろの奥まつりと千鳥がけの標本、調理(茶わん蒸し)

【特別支援学校】

- ・集団活動： 創作活動(与えられたテーマに応じて、その意味を表す文字を作成)

1 第1次試験

(1) 配点

| 区 分 | 一般教養 教職専門 | 専門教科 科目 | 実技試験 実技(集団活動) | 口述試験 | 合 計 |
|-------------------|--------------|------------|------------------|------|------|
| ア 小学校 | 300点 | 440点 | | | 740点 |
| イ 以下のウ～カを除く教科(科目) | 300点 | 400点 | | | 700点 |
| ウ 実技試験を課す教科(科目) | 300点 | 200点 | 200点 | | 700点 |
| エ 中学校 英語 | 300点 | 200点 | | 200点 | 700点 |
| オ 高等学校 英語 | 300点 | 300点 | | 200点 | 800点 |
| カ 特別支援学校 | 300点 | 400点 | 60点 | | 760点 |

※ 加点制度の利用者には、第1次試験の合計点に20点を上限に加点します。

※ 養護教諭及び栄養教諭は上記区分イの配点になります。

(2) 選考基準

ア 一般選考

総合得点(「一般教養・教職専門」「専門教科・科目」「実技試験」「口述試験」の得点合計)の上位から、順次合格者を選ぶことを原則とします。ただし、各試験のうち一つでも一定の基準に達しない方は、不合格とします。

イ 身体障害者を対象とした選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。

ウ 講師等経験者特別選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。併願者が「講師等経験者特別選考」枠で不合格となった場合は、一般選考志願者として扱い選考します。

エ 社会人特別選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。

オ スポーツアスリート特別選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。

2 第2次試験

(1) 配点

| 区 分 | 個人面接 | 集団討論 | 小論文 | 実 技 | 合 計 |
|-------------------|------|------|------|------|------|
| ア 小学校教諭 | 240点 | 120点 | 160点 | 100点 | 620点 |
| イ 高等学校教諭・特別支援学校教諭 | 240点 | 120点 | 200点 | | 560点 |
| ウ 中学校教諭・養護教諭・栄養教諭 | 240点 | 120点 | 160点 | | 520点 |

(2) 選考基準

ア 一般選考(特例志願該当者を含む。)

総合得点の上位から、順次合格者を選ぶことを原則とします。ただし、「個人面接」「集団討論」「小論文」「実技」のうち一つでも一定の基準に達しない方は不合格とします。なお、小学校教諭算数・理科教員志願者は、第2次試験においても一般の小学校教諭との併願として扱います。

イ 身体障害者を対象とした選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。

ウ 講師等経験者特別選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。なお、一般選考との併願については、第2次試験にも適用します。

エ 社会人特別選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。

オ 大学等推薦特別選考

一般選考とは別に選考します。選考方法・選考基準については、一般選考に準じます。

カ スポーツアスリート特別選考

一般選考とは別に選考します。選考基準については、一般選考に準じます。

【参考】評価基準等

(1) 英語口述・実技(音楽, 美術, 書道, 保健体育, 技術, 家庭, 集団活動)判定基準

各教科ごとに評価基準を設定し、定められた点数に換算します。

(2) 個人面接

設定した評価基準に基づき、民間企業の方の1名を含む3名の面接員が7段階で評定します。

【評価の観点】 使命感, 堅実性, 判断力等

個人面接において、与えられた課題に対して模擬授業・場面指導等を行います。(全校種)

【評価の観点】 表現力, 態度, 内容等

(3) 集団討論

1グループ5~10名での討論等を、3名の面接員が、設定した評価基準に基づき、7段階で評定します。

【評価の観点】 意欲, 熱意, 積極性, リーダーシップ等

(4) 小論文判定基準

設定した評価基準に基づき、複数の採点者がそれぞれ採点した平均点を用います。

【評価の観点】 字数制限, 表現の適切さ, 論理性, 構成力等

1 第1次試験

8月上旬頃に、本人（「現職教諭等在職者」、「大学等推薦特別選考受験者」、「前年度の結果による1次免除者」の第1次試験の免除者も含む。）あて通知するとともに、県教育庁内（県庁舎22階）に合格者の受験番号を掲示し、さらに、県教育委員会ホームページ上にも掲載します。なお、必要な試験を一部でも受験しなかった場合（保健体育実技の一部試験を受けなかった場合も含む。）は、合否判定の対象とせず、選考結果は通知しません。

2 第2次試験

10月上旬頃に本人あて採用候補者名簿登載、非登載の別を通知するとともに、県教育庁内（県庁舎22階）に採用候補者名簿登載者の受験番号を掲示し、さらに県教育委員会ホームページ上にも掲載します。なお、必要な試験を一部でも受験しなかった場合（小学校体育実技の一部試験を受けなかった場合も含む。）は、合否判定の対象とせず、選考結果は通知しません。

- ※ 採用候補者名簿登載の有効期間は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までです。
- ※ 就職その他の事情で採用志願を取り消す場合は、辞退届（指定の様式）を提出してください。

【大学院前期（修士）課程進学予定者・大学院前期（修士）課程在籍者の採用候補者名簿登載の猶予について】

採用候補者名簿登載者のうち、次のア、イ、ウの要件を全て満たす方は、以下のとおり採用候補者名簿への登載を猶予します。

- ア 合格区分・教科ごとの普通免許状を有する方又は平成30年3月31日までに取得見込みの方
- イ 大学院修了までに合格区分・教科又は職の専修免許状を取得見込みの方
- ウ 指定された期日までに本人が茨城県教育委員会に、別に定める様式により名簿登載の猶予を申請し、茨城県教育委員会の許可を受けた方

<採用候補者名簿への登載について>

- 大学院修士課程1年生に在籍している方は、平成31年4月1日に名簿登載をします。
- 平成30年4月から大学院修士課程に進学を予定する方は、平成32年4月1日に名簿登載をします。
- 長期履修学生制度の教育職員免許取得プログラムを活用し、大学院に在籍している方及び進学を予定している方は、県教育委員会が認めた猶予期間満了後の4月1日に名簿登載をします。詳しくは、県教育委員会にご相談ください。
- いずれの場合も、名簿登載の有効期間は名簿登載の日から1年間です。

【スポーツアスリート特別選考の採用候補者の名簿登載の猶予について】

- (1) 平成31年第74回国民体育大会（夏季大会）に出場する方は、平成32年4月1日まで名簿登載を猶予することができます。また、平成31年第74回国民体育大会（冬季大会）に出場する方は、平成31年4月1日まで名簿登載を猶予することができます。いずれの場合も、指定された期日までに本人が茨城県教育委員会に、別に定める様式により名簿登載の猶予を申請し、茨城県教育委員会より許可を受けた方のみとします。
- (2) 上記(1)により採用候補者名簿登載が猶予されている方のうち、平成32年東京オリンピック競技大会に出場（内定及び候補者を含む。）が決定した方については、平成33年4月1日まで名簿登載を猶予することができます。この場合、指定された期日までに本人が茨城県教育委員会に、別に定める様式により名簿登載の猶予の延期を申請し、茨城県教育委員会より許可を受けた方のみとします。
- (3) 上記(1)、(2)のいずれの場合も、登載猶予期間中においては、第74回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部が雇用するスポーツ専門員として申し込むことが可能です。

3 選考試験結果の情報提供について

- (1) 第1次試験不合格者及び第2次試験における採用候補者名簿非登載者には、選考結果の情報提供を行います。情報提供を希望しない場合には、採用志願書の「選考結果の情報提供の希望」の欄に「無」を記入してください。記入のないもの（空欄）は、「希望あり」とみなします。
- (2) 情報提供として、第1次試験不合格者及び第2次試験における採用候補者名簿非登載者の選考試験の順位、併せて第1次試験については「一般教養・教職専門」「専門科目」「口述試験」（英語のみ）「実技試験（音楽、美術、書道、技術、家庭、保健体育）」「実技（集団活動）」の各得点、得点合計及び合格最低点を、第2次試験については「小論文」「個人面接」「集団討論」「実技（小学校）」の得点合計及び合格最低点を通知します。
- (3) 第1次試験合格者全員に、第1次試験結果通知書において、総合得点による合格区分（3ランク表示）をお知らせします。合格区分の目安は以下のとおりとします。

| | | |
|-----------------|----|------|
| A | B | C |
| 第 1 次 試 験 合 格 者 | | |
| ← 上位 | 中位 | 下位 → |

【16】 前年度の選考試験結果による第1次試験の免除について

平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験第2次試験不合格者の中で、総合評価が優秀である方は、平成31年度採用茨城県公立学校教員選考試験の第1次試験の全てを免除します。ただし、平成30年度採用の選考試験で受験した同一校種、同一試験区分、同一教科・科目を受験する方に限ります。

【該当者】

- 平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験の第2次試験結果通知の際に、平成31年度採用茨城県公立学校教員選考試験第1次試験免除対象者であると通知された方。
- 平成30年度に「一般教養・教職専門」、「専門教科試験」（必要とされる「実技試験」、「口述試験」を含む。）を全て受験している方
- ※ 特例を除く一般選考、講師等経験者特別選考併願受験者が対象となります。
- ※ 2年連続の免除はありません。

【17】 実習助手

1 受験資格（次の要件を全て満たす方）

- (1) 昭和48年4月2日以降に出生した方
- (2) 高等学校卒業以上の学歴を有する方、又は平成30年3月31日までに高等学校卒業見込みの方
- (3) 地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない方

2 提出書類

- (1) 出願時に提出する書類
 - ア 平成30年度採用茨城県公立学校教員採用志願書
 - ・電子申請の場合は、県教育委員会ホームページに掲載された利用方法を確認し申請してください。
 - ・電子申請が利用できない場合は、志願書を持参又は郵送してください。
 - イ 受験票 62円切手を貼ってください。
 - ・電子申請の場合は、出願時に提出する必要はありません。
 - ウ データ入力票

- (2) 試験当日に提出する書類
 ア 結果通知用封筒 (長形3号, 120mm×235mm)
 92円切手を貼り, 封筒の表に郵便番号, 住所, アパート名又は下宿先, 受験者の氏名を記入してください。
 また, 封筒の表の左下に, 受験番号を明記してください。
 イ 最終学校の卒業 (修了) 証明書又は卒業 (修了) 見込証明書

3 出願期間, 試験日, 及び試験場

- (1) 出願期間 平成29年7月18日 (火) から平成29年7月24日 (月) まで
 ・電子申請者以外の受験票は, 受験者あてに8月中旬に発送します。
 (2) 出願先 高校教育課, 特別支援教育課 (6ページ「【11】出願期間及び出願先」に準じます。)。
 ・どちらか一方の出願になります。
 (3) 試験日 平成29年9月10日 (日)
 (4) 試験場 県立水戸第三高等学校 水戸市三の丸2-7-27 (029)224-2044

4 日程及び試験内容

| | | |
|-------------------|------|-------------------------------|
| 8:30～8:50 | 受 付 | (時間内に受付を完了しない方は原則として受験できません。) |
| 9:00～10:00 (60分) | 一般教養 | |
| 10:10～11:10 (60分) | 作 文 | |
| 12:00～ | 個人面接 | |

- (注) 1 携行品 受験票, 上履き, 昼食, 筆記用具を持参してください。
 2 試験場への自家用車の乗り入れや自家用車による送迎は禁止です。公共交通機関をご利用ください。
 3 試験場内の敷地内 (他会場への移動時を含む) においては, ICレコーダー, スマートフォンや携帯電話等, 録音・録画・通信・通話のできる電子機器の使用を禁止します。
 4 試験場敷地内は禁煙とします。

5 配点, 選考基準

- (1) 配点 一般教養(200点), 作文(200点), 個人面接(240点)の640点満点とします。
 (2) 選考基準 8ページ「【14】配点及び選考基準 1 第1次試験 (2)選考基準, 2 第2次試験 (2)選考基準 ア 一般選考」に準じます。

6 結果の通知

- 9ページ「【15】採用選考試験の結果の通知等 2 第2次試験 及び 3 選考試験結果の情報提供について」に準じます。

【18】 給与

給与は, 各人の経歴等によって異なります。学校卒業直後に採用された場合の基本給与と手当等の月額額は次のとおりです。
 (平成29年4月1日現在)

| 区 分 | 教諭・養護教諭・栄養教諭 | 実習助手 |
|-----|---------------|---------------|
| 月 額 | 230,135円 (大卒) | 179,927円 (高卒) |

※ このほか, 県の規定に基づき住居手当等の生活関連手当や通勤手当などが支給されます。

【19】 問い合わせ先

〒310-8588 水戸市笠原町978番6 茨城県教育庁学校教育部 各担当課
 義務教育課 (029)301-5220 高校教育課 (029)301-5256 特別支援教育課 (029)301-5275
 (小学校教諭, 中学校教諭, 養護教諭, 栄養教諭) (高等学校教諭, 高等学校実習助手) (特別支援学校教諭, 特別支援学校実習助手)

茨城県教育委員会 <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/welcome/kyoshoku/saiyou/index.html>

【20】 その他

- 1 採用候補者名簿登載及び採用内定の取り消しについて
 採用候補者名簿への登載後, 信用失墜行為等教員にふさわしくない行為が判明した場合は, 名簿登載及び採用内定を取り消すことがあります。
 スポーツアスリート特別選考の採用候補者において, 平成31年第74回国民体育大会出場に必要な予選 (手続き) に参加しなかった方は, 名簿登載及び採用内定を取り消すことがあります。
 また, 平成30年3月31日までに必要とされる免許状が取得できない場合は, 名簿登載及び採用内定を取り消します。
 2 「志願者の特例」に係る提出書類の様式
 用紙はA4判を縦に使用し, 通常の文書スタイルに準じます。書体及びポイント数に指定はありません。

(様式1) 勤務実績証明書

| 勤務実績証明書 | |
|----------------|---------|
| 氏 名 | 受験校種・職種 |
| | 教科・科目 |
| 1 現在の勤務先 | |
| 2 職歴 | |
| 3 休職等の期間 | |
| 上記のとおり, 証明します。 | |
| 平成〇年〇月〇日 | 所屬長等 印 |

(様式2) 自己推薦書

| 自己推薦書 | |
|------------------|---------|
| 氏 名 | 受験校種・職種 |
| | 教科・科目 |
| 記 | |
| ※ 推薦内容を記載する。 | |
| 上記のとおり, 自己推薦します。 | |
| 平成〇年〇月〇日 | 氏名 印 |

(様式3) 派遣実績証明書

| 派遣実績証明書 | |
|----------------|----------------|
| 氏 名 | 受験校種・職種 |
| | 教科・科目 |
| 1 派遣国 | |
| 2 派遣期間 | |
| 3 職務内容 | |
| 4 その他 | |
| 上記のとおり, 証明します。 | |
| 平成〇年〇月〇日 | 青年海外協力隊事務局長等 印 |

(様式4) スポーツの実績一覧

| スポーツの実績一覧 | |
|--|----------------------|
| □:一般(※-7実績), □特別(※-7アスリート) (※いずれか□内に✓点) | |
| 氏 名 | |
| 受験校種 | |
| 教科・科目 | |
| 1 大会名 | |
| (1) 種目 | |
| (2) 期日 | |
| (3) 成績 | |
| 2 大会名 | |
| (1) 種目 | |
| (2) 期日 | |
| (3) 成績 | |
| 上記のとおり, 相違ありません。 | |
| 平成〇年〇月〇日 | 競技団体責任者等 印 (氏名 印) |

※ 様式1について

- ・現職の方は, 現在の所属長の証明を受けてください。
- ・正規任用教諭等経験者の一部試験の免除を志願する場合は, 任用されていた都道府県教育委員会で証明を受けてください。(この様式でなく, 履歴事項の記録や人事記録等の写しに, 原本証明を受けたものでもかまいません。)

※ 様式4について

- ・成績を証明する書類の写しを添付してください。
- ・写しの原本証明は必要ありません。
- ・スポーツアスリート特別選考は, 個人名の申請になります。

出願書類等に関するチェック項目

出願に関する書類

※郵送の場合は、特に入念に点検してください。

志願書

- 年齢は、平成30年4月1日現在になっているか。
- 写真は規定のサイズか。裏面に氏名を記入し、志願書にのり付けしてあるか。
 - ・電子申請の場合、既定の写真サイズでファイル添付してあるか。
- 選考種別や志望校種・職種、志願者の特例に○印を付けてあるか。
- 学歴の欄に、高校等卒業以上の学歴を記入してあるか。高校等名の前に都道府県名があるか。
- 履歴事項の欄に、学歴を除き高校等卒業から現在までの全ての履歴が記入されているか。
- 志願書の「履歴事項の欄」に重ね貼りをしていないか。（※印の留意事項参照）
- 職歴の全てについて、「常勤・非常勤」の別に○印を付けてあるか。
- 現職の欄は、現在、学校や民間企業等に正式採用されている方のみ記入する。臨時的任用職員、非常勤職員、パート職員及びアルバイトは記入しない。
- 選考結果の情報提供を希望しない場合は、希望欄に「無」の記入があるか。空欄は「希望あり」とみなす。
- 「受験上の配慮事項」に、身体の障害や怪我等による受験上の不都合を解消するための要望を記入してあるか。要望がない場合は、「特になし」と記入する。
- クラブ活動（部活動）・ボランティア活動、趣味、特技・資格の欄に、実績を記入してあるか。該当がない場合は、「特になし」と記入する。
- 誓書に日付と氏名を記入してあるか。日付は、願書提出の日又は出願期間内の日とする。
- その他、記入漏れはないか。訂正箇所は二本線で消し、その上に訂正印を押してあるか。
- 電子申請の場合、申請内容や申込みの完了を確認したか。また、整理番号とパスワードを保管したか。

受験票

- 受験票の太線枠内に、氏名、受験校種・職種、教科・科目を記入してあるか。
- 受験票の裏に、62円切手が貼ってあるか。
- 受験票の裏に、郵便番号、住所、アパート名やマンション名と部屋番号、受験者の氏名を記入してあるか。氏名の後の「殿」は、書き換えずそのままよい。

データ入力票

- 選考種別、志願者の特例、受験校種・職種、教科・科目は、志願書と一致しているか。
- 記入上の注意に従って、もれなく記入してあるか。また、コード番号は、正確か。

志願者の特例、身体障害者を対象とした選考、講師等経験者特別選考、スポーツアスリート特別選考

- 身体障害者を対象とした選考で受験する場合に、身体障害者手帳の写しを用意したか。
- 実績を証明する書類（4ページの別記様式、又は10ページの様式1～様式4）を用意したか。

第1次試験（7月9日（日））に提出する書類

第1次試験結果通知用封筒

- 長形3号（120mm×235mm）の封筒に、92円切手が貼ってあるか。
- 封筒の表に、郵便番号、住所、アパート名やマンション名と部屋番号、受験者の氏名を記入してあるか。氏名の後の「殿」は、書き換えずそのままよい。
- 受験校種・職種、教科・科目、受験番号を記入してあるか。

第2次試験（8月19日（土））に提出する書類

最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書

- 該当する証明書を用意したか。

選考結果通知用封筒

- 角型2号（240mm×332mm）の封筒に、290円切手が貼ってあるか。
- 封筒の表に、郵便番号、住所、アパート名やマンション名と部屋番号、受験者の氏名を記入してあるか。
- 封筒の表の左下に、受験校種・職種、教科・科目、受験番号を記入してあるか。

受験同意書

現在、国・公・私立学校の教職員又は国、地方公共団体若しくは医療機関の職員で、第1次試験に合格した方に関すること。

- 所属長の受験同意書を茨城県教育委員会あてに用意したか。
- 同意書を提出できない事由がある場合は、その事由を記載した申立書を用意したか。

平成30年度採用 茨城県公立学校教員志願者データ入力票 記入上の注意

1 選考種別、志願者の特例、受験校種、受験教科は、下のコード表から選んでコード番号を記入する。

小中欄は、小学校は , 中学校は と記入し、それ以外は記入しない。

選考種別コード

| | |
|---|----------------|
| 1 | 一般選考 |
| 2 | 身体障害者を対象とした選考 |
| 3 | 講師等経験者特別選考(単願) |
| 4 | 講師等経験者特別選考(併願) |
| 5 | 社会人特別選考 |
| 6 | 大学等推薦特別選考 |
| 7 | スポーツアスリート特別選考 |
| 8 | 離職者を対象とした特別選考 |

志願者の特例コード

| | |
|---|----------------|
| 1 | 現職教諭等在職者 |
| 2 | 正規任用教諭等経験者 |
| 3 | 国際貢献活動経験者 |
| 4 | 英語の資格 |
| 5 | スポーツの実績 |
| 6 | 前年度の結果による1次免除者 |
| 7 | 加点申請の希望 |

受験校種コード

| | |
|---|----------|
| 1 | 小学校教諭 |
| 2 | 中学校教諭 |
| 3 | 高等学校教諭 |
| 4 | 特別支援学校教諭 |
| 5 | 養護教諭 |
| 6 | 栄養教諭 |
| 7 | 実習助手 |

受験教科・科目コード

| | | | | | | | |
|----|------|----|------|----|----|----|-----|
| 00 | なし | 10 | 保健 | 20 | 工業 | 30 | 情報 |
| 01 | 国語 | 11 | 倫理 | 21 | 商船 | 31 | 農業系 |
| 02 | 社会 | 12 | 政治経済 | 22 | 商業 | 32 | 工業系 |
| 03 | 数学 | 13 | 日本史 | 23 | 水産 | 33 | 小算併 |
| 04 | 理科 | 14 | 世界史 | 24 | 看護 | 34 | 小理併 |
| 05 | 音楽 | 15 | 地理 | 25 | 物理 | | |
| 06 | 美術 | 16 | 化学 | 26 | 書道 | | |
| 07 | 保健体育 | 17 | 生物 | 27 | 福祉 | | |
| 08 | 技術 | 18 | 家庭 | 28 | 地学 | | |
| 09 | 英語 | 19 | 農業 | 29 | 公民 | | |

※小学校教諭・養護教諭・栄養教諭・特別支援学校教諭の場合、教科欄に00と記入する。ただし、小学校教諭算数・理科教諭を志望する場合は、次のように記入する。

・小学校教諭算数教員 33
・小学校教諭理科教員 34

※実習助手の場合は、31 又は 32

2 氏名は、姓と名の間は1字空け、カタカナ・漢字で記入する。濁点・半濁点は1字分とする。

3 満年齢は、平成30年4月1日現在での年齢とする。性別は、男性 = , 女性 = と記入する。生年月日は2桁で表す。(1月は01と記入)

4 最終卒業学校の国立私立区分、学校区分、学校(大学院)、学部区分、課程区分は下のコード表から選んでコード番号を記入する。

学校名・学部名・研究科名・課程学科専攻名はマスに入るように略してもよい。大学院・専攻科修了の場合は、その大学院等の名称を記入する。また、大学院在学・修了の場合は博士・修士の別を記入する。

国立私立区分コード

| | |
|---|----|
| 1 | 国立 |
| 2 | 公立 |
| 3 | 私立 |

学校(大学院)コード

| | | | |
|----|---------------|----|----------------|
| 01 | 茨城大学 | 13 | 土浦短期大学 |
| 02 | 筑波大学 | 14 | つくば国際短期大学 |
| 03 | 図書館情報大学 | 15 | 清真学園女子短期大学 |
| 04 | 茨城キリスト教大学 | 16 | 東京家政学院筑波女子大学 |
| 05 | 常磐大学 | | 短期大学部 |
| 06 | 流通経済大学 | 17 | つくば国際大学 |
| 07 | 茨城大学工業短期大学部 | 18 | 筑波学院大学 |
| 08 | 筑波大学医療技術短期大学部 | | (東京家政学院筑波女子大学) |
| 09 | 筑波技術短期大学 | 19 | 本県外の四年制大学 |
| 10 | 水戸短期大学 | 20 | 本県外の短期大学 |
| 11 | 常磐大学短期大学部 | 21 | その他の学校 |
| 12 | シオン短期大学 | | |

学部区分コード

| | |
|---|-----------------|
| 1 | 国公立の教育学部 |
| 2 | 私立の教育学部(教育系を含む) |
| 3 | その他(国・公・私を含む) |

※文学部児童教育学科や初等教育学科など、小免がとれる学部は「2」に記入する。

学校区分コード

| | |
|---|-------|
| 1 | 大学院 |
| 2 | 教職大学院 |
| 3 | 大学専攻科 |
| 4 | 大学 |
| 5 | 短期大学 |
| 6 | その他 |

課程区分コード

| | |
|---|-------|
| 1 | 小学校課程 |
| 2 | 中学校課程 |
| 3 | その他 |

卒業・見込別コード

| | |
|---|-------|
| 1 | 卒業 |
| 2 | 卒業見込み |

※教育学部以外は記入しない。

※大学の通信教育入学者は大学名を漢字等で記入すること。

5 卒業高校名は、8字以内で「高校」まで記入する。学校区分コードは、茨城県内の高等学校 = , 茨城県外の高等学校 = とする。元号は、昭和又は平成と漢字で記入し、年月は2桁で記入する。(3月卒業は03と記入)

6 小学校・中学校・養護・栄養・高等学校・特別支援学校の各教諭の免許状区分は、下の免許状・免許教科コード表から選んでコード番号を記入する。**受験校種の免許は最上段に記入し**、取得(取得見込み)免許も全て記入する。該当のない免許状・免許教科コードは、全て0・00を記入する。

免許状コード

| | |
|---|---------|
| 0 | 免許なし |
| 1 | 専修免許状 |
| 2 | 1種免許状 |
| 3 | 2種免許状 |
| 4 | 免許取得見込み |

免許教科コード

| | | | | | | | | | |
|----|------|----|------|----|--------------|----|-------|----|-----|
| 00 | 免許なし | 07 | 音楽 | 14 | 職業(指導・実習を含む) | 20 | 水産 | 27 | 情報 |
| 01 | 国語 | 08 | 美術 | 15 | 外国語 | 21 | 看護 | 28 | 福祉 |
| 02 | 社会 | 09 | 書道 | 16 | 宗教 | 22 | 特(視覚) | 29 | 商船 |
| 03 | 地理歴史 | 10 | 保健体育 | 17 | 農業 | 23 | 特(聴覚) | 30 | その他 |
| 04 | 公民 | 11 | 保健 | 18 | 工業 | 24 | 特(知的) | | |
| 05 | 数学 | 12 | 技術 | 19 | 商業 | 25 | 特(肢体) | | |
| 06 | 理科 | 13 | 家庭 | | | 26 | 特(病弱) | | |

※盲学校教諭免許状取得者はコード番号22、聾学校教諭免許状取得者はコード番号23、養護学校教諭免許状取得者はコード番号24、25、26を記入すること。

7 資格については、公的な財団法人・連盟等の機関が設定した資格で段位・級も含めて10字以内で記入すること。「柔道初段」「珠算2級」等。司書教諭の講習修了者にあつては、「司書教諭修了」と、司書教諭講習修了証書を申請中の場合は、「司書教諭申請中」と記入すること。特技については、20字以内で記入する(「100m走 10'11 国体2位」等)。ない場合は「なし」と記入すること。

8 郵便番号、都道府県名、郡市名、町村名を記入し、アパート等の場合は、欄外の() にアパート名・部屋番号を記入する。

9 連絡先は、平成29年4月1日以降の確実な連絡先(例「父母等の居住する市町村」等)について、下のコード表のコード番号や電話番号(志願者本人の携帯電話番号を優先する。)を記入する。

連絡先コード

| | | | | | |
|----|----------------|----|--------------------------|----|----------------|
| 01 | 水戸市、茨城町 | 10 | 潮来市、行方市 | 18 | 福島県 |
| 02 | ひたちなか市、大洗町、東海村 | 11 | 土浦市、石岡市、かすみがうら市 | 19 | 栃木県 |
| 03 | 笠間市、小美玉市、城里町 | 12 | 龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町 | 20 | 群馬県 |
| 04 | 那珂市、常陸大宮市 | 13 | つくば市、つくばみらい市 | 21 | 埼玉県 |
| 05 | 大子町 | 14 | 取手市、守谷市、利根町 | 22 | 千葉県 |
| 06 | 常陸太田市 | 15 | 筑西市、下妻市、桜川市 | 23 | 東京都 |
| 07 | 日立市 | 16 | 結城市、八千代町、常総市 | 24 | 神奈川県 |
| 08 | 高萩市、北茨城市 | 17 | 古河市、坂東市、五霞町、境町 | 25 | その他 |
| 09 | 鹿嶋市、神栖市、銚田市 | | | | ※その他には外国の場合を含む |

10 現在の職業について下のコード表から選んでコード番号を記入し、内容を記入欄内に簡潔に記入する。(例「〇〇中期付講師」「会社員〇〇運送」等)

職歴コード

| | | | |
|----|-------------------------------------|----|------------------------------------|
| 01 | 茨城県以外の国公立学校の本採教職員である。 | 06 | 私立学校の臨時職員(常勤講師を含む。)である。 |
| 02 | 茨城県の国公立学校の本採教職員である。 | 07 | 会社等の社員(臨時職員を含む。)である(アルバイト・パートは除く。) |
| 03 | 国公立学校(茨城県・他県・大学を含む。)の臨時職員(常勤講師)である。 | 08 | 国公立学校の非常勤講師である。 |
| 04 | 1~3以外の公務員である(非常勤は含まない。) | 09 | 市町村採用の任期付教員である。 |
| 05 | 私立学校の本採用教諭(養護教諭を含む。)である。 | 10 | その他(学生、在家を含む。) |

11 教職経験(他県、私立を含む)の有無について、下のコード表から選んでコード番号を記入する。

教職経験の有無コード

| | |
|---|------------------------|
| 0 | 経験なし |
| 1 | 本採用教諭・養護教諭・栄養教諭の経験がある。 |
| 2 | 臨時的任用講師の経験がある。 |

※非常勤講師は該当しません。

本採用・臨時的任用講師経験月数コード

| | | | |
|---|------------|---|------------|
| 0 | 経験なし | 3 | 24月以上36月未満 |
| 1 | 12月未満 | 4 | 36月以上 |
| 2 | 12月以上24月未満 | | |

12 民間企業の経験の有無について、下のコード表から選んでコード番号を記入する。

民間企業の経験の有無コード

| | |
|---|----------------------------------|
| 0 | 経験なし |
| 1 | 民間企業の本採用の経験がある。 |
| 2 | 民間企業の臨時的社員の経験がある。(アルバイト・パートは除く。) |

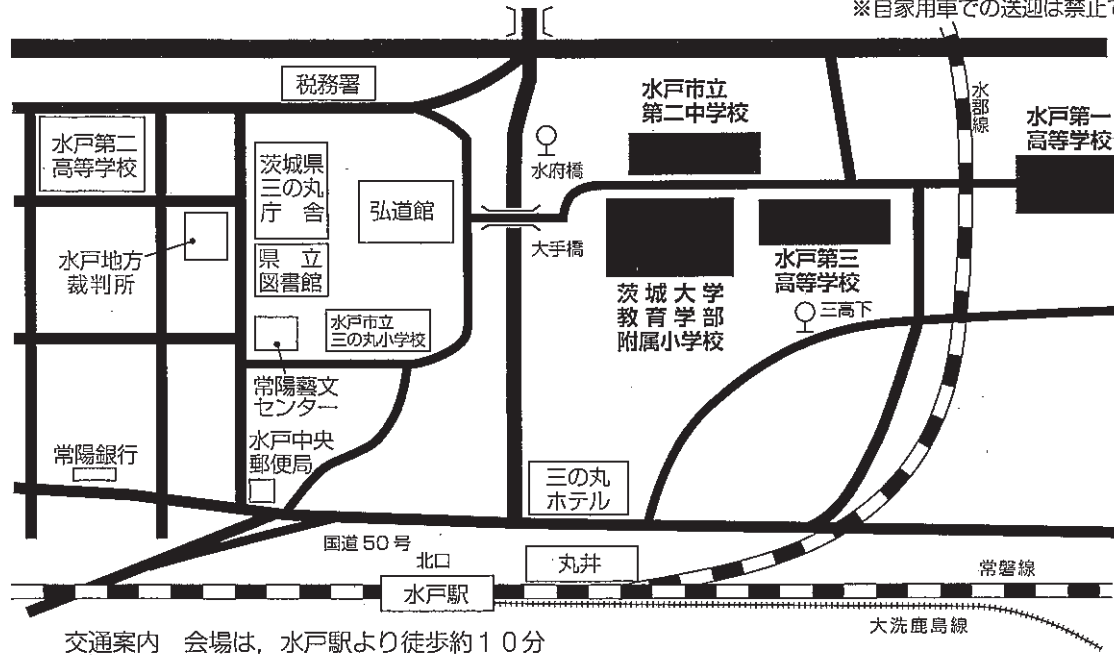
民間企業の経験年数コード

| | |
|---|----------|
| 0 | 経験なし |
| 1 | 1年未満 |
| 2 | 1年以上3年未満 |
| 3 | 3年以上 |

試験会場案内図

水戸市立第二中学校, 水戸第一高等学校, 水戸第三高等学校, 茨城大学教育学部附属小学校

※自家用車での送迎は禁止です。



交通案内 会場は、水戸駅より徒歩約10分

水戸市立第一中学校

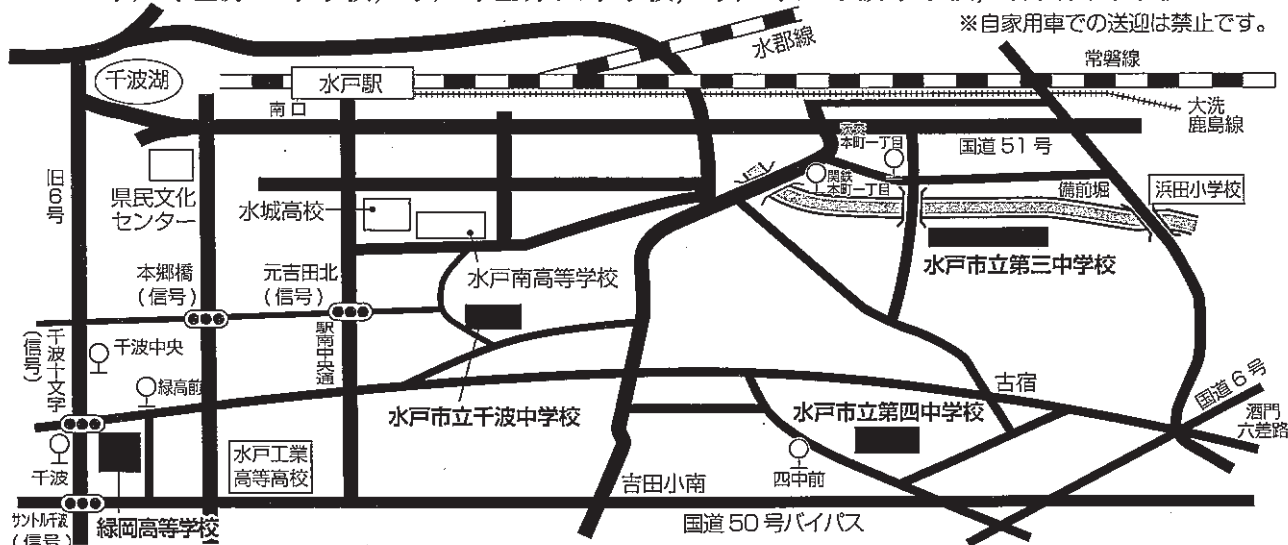
※自家用車での送迎は禁止です。



交通案内
 水戸駅北口から茨交バス 栄町経由茨大方面行 末広町二丁目下車 徒歩7分
 水戸駅北口から茨交バス 赤塚駅方面行 大工町三丁目下車 徒歩5分

水戸市立第三中学校, 水戸市立第四中学校, 水戸市立千波中学校, 緑岡高等学校

※自家用車での送迎は禁止です。



交通案内 水戸三中 水戸駅北口から茨交バス 大洗方面、浜田営業所行 本町一丁目下車 徒歩5分
 水戸駅北口から関鉄バス 三高下経由
 免許センター行 } 本町一丁目下車
 県自動車学校行 } 徒歩5分
 茨城町役場、奥の谷坂上行

千波中 水戸駅南口から徒歩20分
 水戸四中 水戸駅南口から関鉄バス 四中経由吉沢車庫行 四中前下車
 ※水戸駅南口から水戸四中行きの臨時バスが運行する予定です。(7:00~8:00)
 緑岡高等学校 水戸駅北口から関鉄バス(平須、石岡方面) 千波中央または千波下車 徒歩7分
 水戸駅北口から関鉄バス(本郷経由または弘沢経由) 緑高入口下車 徒歩3分

**【別紙】****平成30年度 茨城県公立学校教員選考試験実施要項****〔離職者を対象とした特別選考〕**

茨城県教育委員会

【1】 目的

この試験は、今後の茨城県公立学校教員採用に当たっての選考資料を得るために実施します。

【2】 選考種別

離職者を対象とした特別選考

【3】 採用予定区分・教科・科目及び人数

| 区分 | 小学校教諭 | 中学校教諭 | 高等学校教諭 (中等教育学校を含む。) | 特別支援学校教諭 |
|---|-------|----------|------------------------|----------|
| 採用 予定 人数 | 若干名 | 若干名(全教科) | 若干名(全教科・科目) | 若干名 |
| (注)日本国籍を有しない方については、講師として任用します。 ただし、給与については、教諭と同じ給料表を適用して支給します。 | | | | |

【4】 受験資格(次の要件を全て満たす方)

| 区分 要件 | 小学校教諭 | 中学校教諭 | 高等学校教諭 | 特別支援学校教諭 |
|----------|--|---------------------|----------------------|-------------------|
| 免許状 | 小学校教諭 普通免許状 | 志願教科の中学校 教諭普通免許状 | 志願教科の高等学 校教諭普通免許状 | 特別支援学校 教諭普通免許状 |
| 年齢 | 昭和33年4月2日以降に出生した方 | | | |
| 欠格 条項 | 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条の欠格条項及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格事由に該当しない方 | | | |
| 受験 資格 | 上記の免許状、年齢及び欠格条項欄に掲げる各要件を満たし、次の各号のいずれにも該当する方 ア 過去に本県の公立学校の正規任用教諭として3年以上(休職・育児休業等の期間を除く。)の勤務経験がある方 イ 退職後3年以内の方若しくは、教員免許更新制に係る教員免許失効により失職した方のうち、教員免許失効発覚の日から3年以内の方 ウ 退職勧奨により退職した方は、「離職者を対象とした特別選考」の対象から除きます。 | | | |

【5】 出願手続

※ 平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項、P5【10】出願手続を参照してください。

1 出願書類

| |
|---|
| (1) 出願時に提出する書類 ア 電子申請について ・離職者を対象とした特別選考においては、電子申請は利用できません。 イ 持参又は郵送の場合 ・提出する書類は、志願書、勤務実績証明書(様式1)、再採用申告書(様式5)、志願者データ入力票、受験票(6月中旬頃、受験番号等を表示)です。 ・志願書等の提出については、提出(郵送の場合は消印)期限を厳守してください。 ・受験票には、表に62円切手を貼り、裏に郵便番号、住所、アパート名又は下宿先、受験者の氏名を記入してください。 |
| (2) 試験当日に準備する書類 ア 結果通知用封筒(角型2号、240mm×332mm) 290円切手を貼り、封筒の表に郵便番号、住所、アパート名又は下宿先、受験者の氏名を記入してください。 また、封筒の表の左下に受験した校種・職種・教科・科目及び受験番号を明記してください。 イ 受験票 |

2 受験票の送付

受験者あてに、6月中旬頃発送する予定です。

【6】 出願期間及び出願先

※ 平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項、P6【11】出願期間及び出願先を参照してください。

【7】 試験期日及び試験場

| 区 分 | 期 日 | 試験場 | 所在地(電話番号) |
|--------------------------------------|------------------|------------|-----------------------------------|
| 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 | 平成29年 7月9日(日) | 県立水戸第三高等学校 | 水戸市三の丸 2-7-27 TEL 029(224)2044 |

※ 試験場内においては、ICレコーダー、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末等、録音・録画・通信・通話のできる電子機器の使用を禁止します。

【8】 日程及び試験内容

期日 平成29年7月9日(日) 集合時刻 午前8時30分(午前8時30分までに集合しない方は原則として受験できません。)

| 区 分 | 時 間 及 び 試 験 内 容 |
|--------------------------------------|--|
| 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 | 9:00～10:00 小論文(60分) 10:15～ 個人面接(一人あたり25分) |

(注) 携行品 受験票、結果通知用封筒、及び筆記用具を持参してください。

【9】 配点及び選考基準

| | | | | |
|--|-----------------------------|------|------|------|
| (1) 配点 | | | | |
| | 区 分 | 小論文 | 個人面接 | 合 計 |
| | 小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭 | 100点 | 200点 | 300点 |
| (2) 選考基準 総合得点の上位から、順次合格者を選ぶことを原則とします。ただし、「小論文」、又は、「個人面接」のいずれかが一定の基準に達しない方は、不合格とします。 | | | | |

| | |
|-------------------|---|
| 【参考】 評価基準等 | |
| (1) 小論文判定基準 | 設定した評価基準に基づき、複数の採点者がそれぞれ採点した平均点を用います。 【評価の観点】 字数制限、表現の適切さ、論理性、構成力等 |
| (2) 個人面接 | 設定した評価基準に基づき、2名の面接員が7段階で評定します。 【評価の観点】 使命感、堅実性、判断力等 |

【10】 採用選考試験の結果の通知等

| |
|---|
| <p>8月上旬頃に本人あて採用候補者名簿登載、非登載の別を通知するとともに、県教育庁内(県庁舎22階)に採用候補者名簿登載者の受験番号を掲示し、さらに県教育委員会ホームページ上にも掲載します。なお、必要な試験を一部でも受験しなかった場合は、合否判定の対象とせず、選考結果は通知しません。</p> <p>※ 採用候補者名簿登載の有効期間は、平成29年8月上旬の合格発表から1年です。採用は、原則として平成30年4月1日付ですが、場合によっては、それ以前に採用されることもあります。</p> <p>※ 何らかの事情で採用志願を取り消す場合は、辞退届(指定の様式)を提出してください。</p> |
|---|

【11】 問い合わせ先

※ 平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項、P10【19】問い合わせ先を参照してください。

【12】 その他

※ 平成30年度採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項、P10【20】その他を参照してください。

※ 提出書類の様式

用紙はA4判を縦に使用し、通常の文書スタイルに準じます。書体及びポイント数に指定はありません。

(様式1) 勤務実績証明書

(様式5) 再採用申告書

| | |
|-------------------------|--------|
| 勤務実績証明書 | |
| 氏 名 受験校種・職種 教科・科目 | |
| 1 | 現在の勤務先 |
| 2 | 職歴 |
| 3 | 休職等の期間 |
| 上記のとおり、証明します。 | |
| 平成〇年〇月〇日 | |
| 所属長等 | 印 |

| | |
|-------------------------|---------|
| 再採用申告書 | |
| 氏 名 受験校種・職種 教科・科目 | |
| 1 | 離職の理由 |
| 2 | 自己推薦の内容 |
| 上記のとおり、申告します。 | |
| 平成〇年〇月〇日 | |
| 氏名 | 印 |

※ 様式1について
・勤務実績証明書については、任用されていた最終勤務校で証明を受けてください。

※ 様式5について
・自己推薦については、自己アピールも含めて自由に記述してください。